

# 2014年3月期 通期 決算説明会資料



2014年5月29日  
株式会社昭文社  
証券コード:9475

# 資料の内容

1. 2014年3月期 通期 連結決算概要	・ ・	3
2. 2015年3月期 業績の見通し	・ ・	12
3. 参考資料	・ ・	16
4. 今後の展望	・ ・	20

【本資料の記載数値・内容について】

- 百万円未満は切り捨てております。
- %表示は小数第1位未満を四捨五入しております。

【本資料の内容についてのお問い合わせ先】

株式会社昭文社 取締役 経営管理本部長 大野真哉  
電話 03(3556)8171

1. 2014年3月期 通期 連結決算概要
2. 2015年3月期 業績の見通し
3. 参考資料
4. 今後の展望

# 2014年3月期 通期 ハイライト

- ・通期業績は前年同期比で減収増益
- ・PND売上は当期も好調に推移、軽自動車での採用が増加  
※PND…簡易型カーナビゲーション
- ・営業利益は原価負担減少と販管費削減で大幅増
- ・従来の出版事業・電子事業のセグメントから、単一セグメントに変更
- ・『ことりっぷ』事業の展開推進
  - ・通販サイト『ことりっぷお取り寄せ』の開始
  - ・自治体、企業との多数のコラボレーションを実現

# 2014年3月期 通期 連結決算概要

市販出版物のうち、地図・海外旅行書商品の売上減少が影響し、売上高は前年同期比7億67百万円減少。各段階利益は、販管費の削減を主な要因として増加

(百万円)

	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期実績	増減額 (実績比)	増減率	2014年3月期 (通期予想)	増減額 (予想比)
売上高	14,638	13,870	△767	△5.2%	13,990	△119
営業利益 (売上高比、以下同)	272 (1.9%)	659 (4.8%)	387	142.3%	450 (3.2%)	209
経常利益	334 (2.3%)	699 (5.0%)	364	108.9%	490 (3.5%)	209
当期純利益	357 (2.4%)	433 (3.1%)	75	21.1%	330 (2.4%)	103
1株当たり当期純利益(円)	21.52	26.07	4.55	21.1%	19.85	6.23

※上記予想は2013年10月30日発表

# 2014年3月期 通期 分類別売上高(前年同期比)

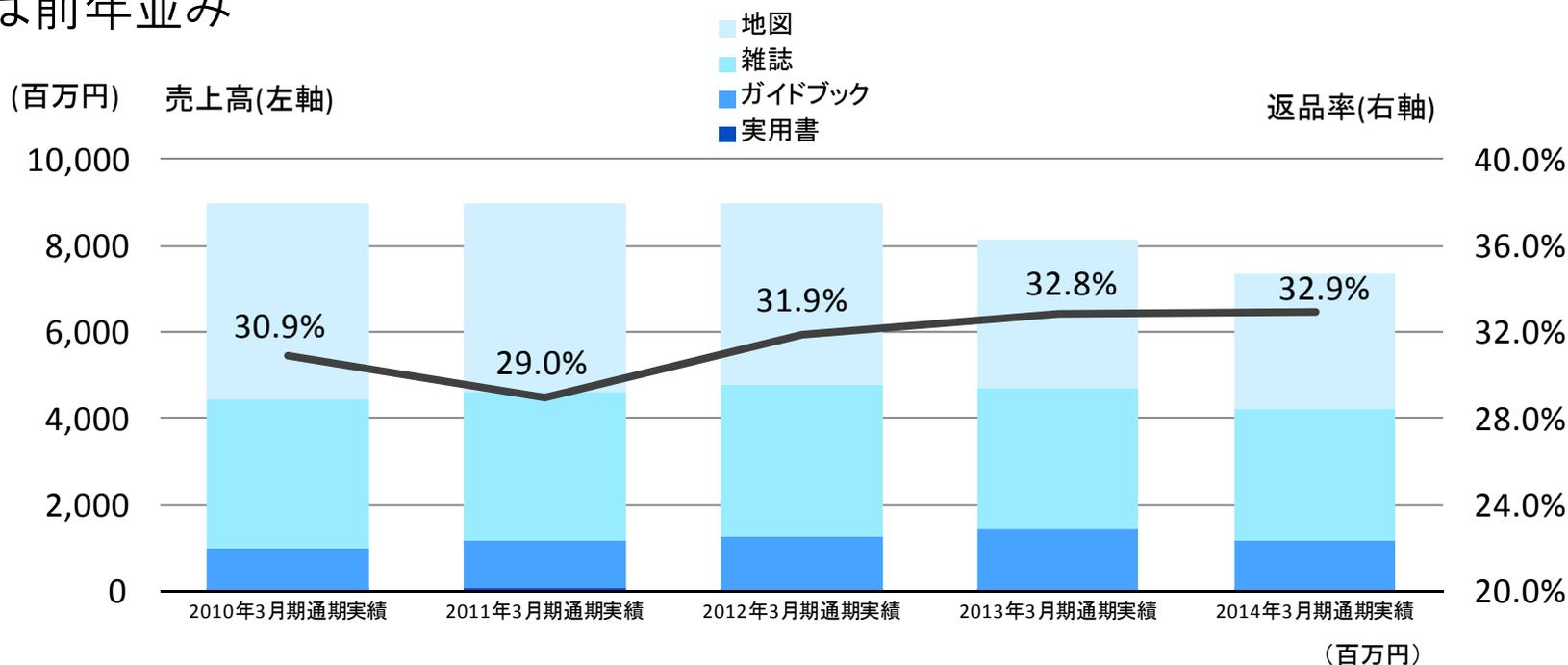
電子売上は微増。PNDの売上は好調に推移したものの、連結子会社の事業の一部を事業譲渡したことに伴う同事業の売上高の大幅減少が影響

(百万円)

	2013年3月期通期		2014年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	実績	構成比		
電子売上	4,920	33.6%	4,924	35.5%	3	0.1%
手数料収入	40	0.3%	33	0.3%	△6	△15.9%
市販出版物合計	8,158	55.7%	7,363	53.1%	△795	△9.8%
地図	3,470	23.7%	3,165	22.8%	△305	△8.8%
雑誌	3,238	22.1%	3,045	22.0%	△192	△5.9%
ガイドブック	1,432	9.8%	1,121	8.1%	△310	△21.7%
実用書	16	0.1%	29	0.2%	12	75.2%
特別注作品	772	5.3%	795	5.7%	23	3.0%
広告収入	745	5.1%	753	5.4%	7	1.0%
合計	14,638	100.0%	13,870	100.0%	△767	△5.2%

# 2014年3月期 通期 市販出版物の売上高・返品率の推移

雑誌・ガイドブックは、従来売れ筋の韓国を取り扱った商品の売上が特に減少。  
返品率は前年並み



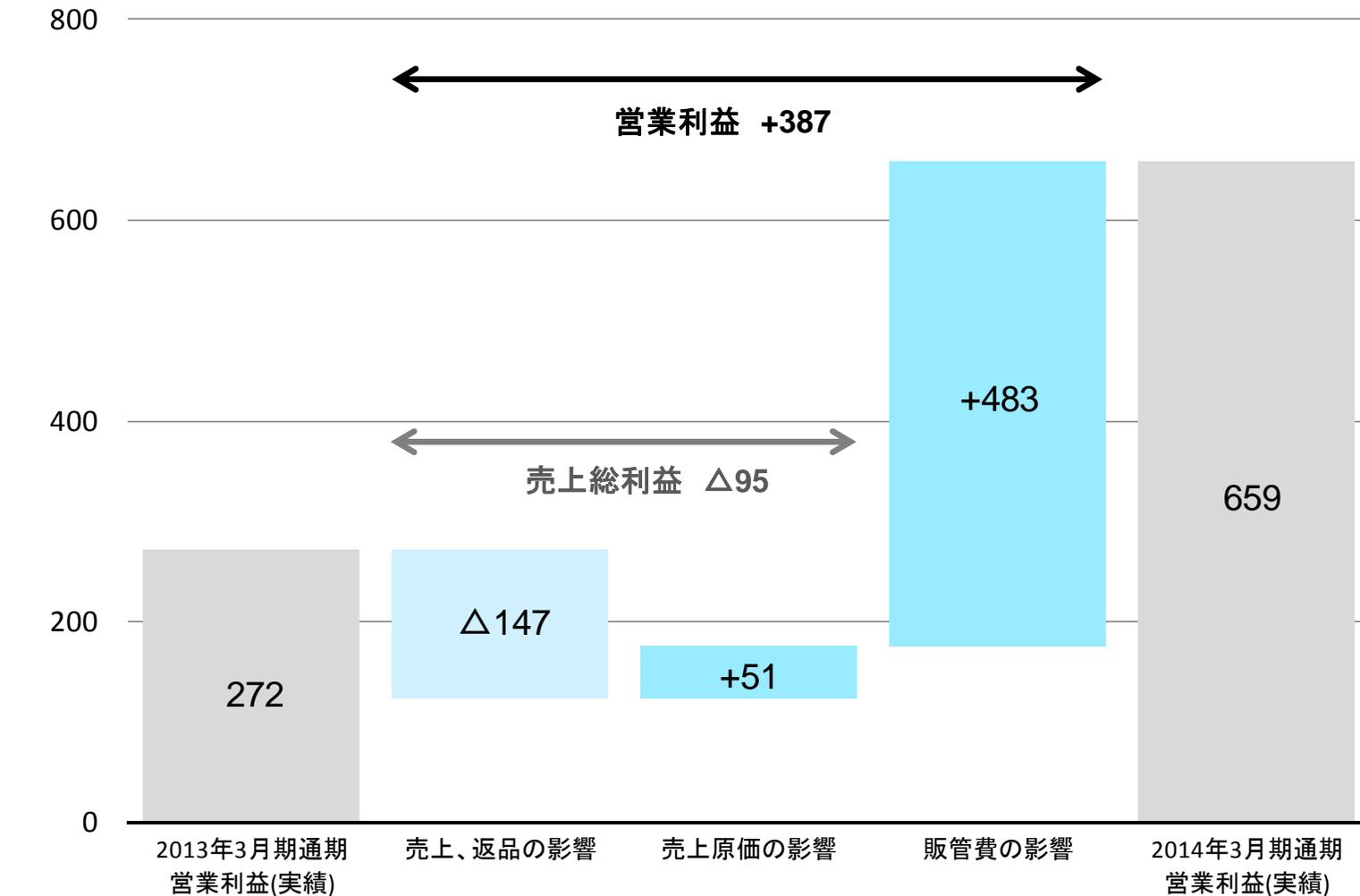
	2010年3月期通期実績	2011年3月期通期実績	2012年3月期通期実績	2013年3月期通期実績	2014年3月期通期実績
市販出版物売上高合計	8,994	8,983	8,983	8,158	7,363
地図	4,572	4,375	4,180	3,470	3,165
雑誌	3,431	3,437	3,554	3,238	3,045
ガイドブック	976	1,125	1,219	1,432	1,121
実用書	14	43	29	16	29
返品率	30.9%	29.0%	31.9%	32.8%	32.9%

# 2014年3月期 通期 営業損益の増減分析(前年同期比)

前年同期比 +387百万円

売上減少の影響を原価改善および販管費の大幅な削減で吸収

(百万円)



改善要因  
減益要因

# 2014年3月期 通期 販管費・設備投資額・償却費の状況

販管費は売上減少に対応する形で、多くの科目で削減実施。前年同期比4億83百万円減少。設備投資は有形・無形固定資産のいずれも抑制し、前年同期比減

(百万円)

	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期実績	増減額	増減率
売上高	14,638	13,870	△767	△5.2%
販管費合計	4,259	3,776	△483	△11.3%
販売促進費	153	102	△51	△33.4%
広告宣伝費	266	222	△43	△16.4%
従業員給与・賞与	1,593	1,418	△175	△11.0%
賞与引当金繰入額	166	171	4	2.7%
減価償却費	155	127	△27	△17.6%
研究開発費	182	149	△33	△18.2%
その他	1,740	1,583	△157	△9.0%
設備投資額合計	608	414	△194	△31.9%
有形固定資産	116	55	△60	△52.3%
無形固定資産	491	358	△133	△27.1%
償却費合計	1,300	1,277	△23	△1.8%
有形固定資産	253	211	△42	△16.6%
無形固定資産	1,047	1,065	18	1.7%

# 2014年3月期 通期 連結貸借対照表

総資産・純資産に大きな変動はなく、財務健全性を維持

(百万円)

	2013年3月期 3月末		2014年3月期 3月末		増減額	増減主要因
	実績	構成比	実績	構成比		
資産合計	33,795	100.0%	33,992	100.0%	196	
流動資産	16,269	48.1%	16,701	49.1%	432	現金及び預金の増加、 受取手形及び売掛金の減少
(うち、たな卸資産)	2,131	6.3%	1,820	5.4%	△310	
固定資産	17,526	51.9%	17,290	50.9%	△235	
(うち、データベース)	4,482	13.3%	3,905	11.5%	△577	投資の抑制および償却の進行
負債合計	5,143	15.2%	4,987	14.7%	△155	
流動負債	3,910	76.0%	3,615	72.5%	△294	支払手形及び買掛金、短期借入金の減少
固定負債	1,233	24.0%	1,372	27.5%	139	繰延税金負債の増加および退職給付引当金の減少
純資産合計	28,652	84.8%	29,004	85.3%	352	(自己資本比率 0.5Pt増)
株主資本	28,300	98.8%	28,401	97.9%	100	
その他の包括利益 累計額	351	1.2%	603	2.1%	251	その他有価証券評価差額金の増加
負債・純資産合計	33,795	100.0%	33,992	100.0%	196	

# 2014年3月期 通期 連結キャッシュ・フロー計算書

営業CFは売上債権減少、投資CFは投資有価証券売却をそれぞれ主な要因として収入増

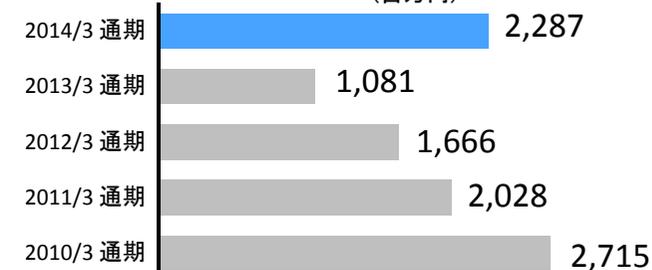
過去5年間推移

(百万円)

	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期実績	増減額	増減主要因
営業活動による キャッシュ・フロー	1,081	2,287	1,205	税金等調整前当期純利益の増加 +147 売上債権の増減額の減少 +432 その他固定資産の増減額の減少 +474
投資活動による キャッシュ・フロー	△771	316	1,087	投資有価証券の売却による収入 +596 有形・無形固定資産の取得による 支出の減少 +269
財務活動による キャッシュ・フロー	△493	△636	△143	短期借入金の純増減額の増加 △114
現金及び 現金同等物の 増減額(△は減少)	△183	1,967	2,150	
現金及び 現金同等物の 期末残高	8,479	10,446	1,967	

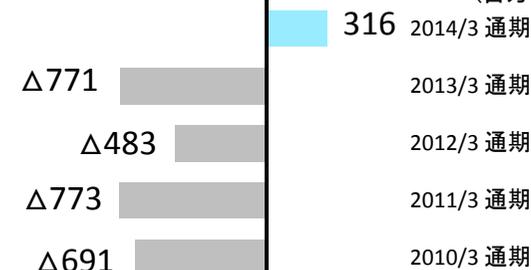
営業活動によるキャッシュ・フロー

(百万円)



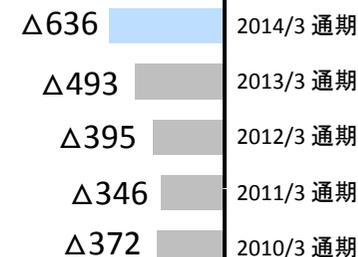
投資活動によるキャッシュ・フロー

(百万円)



財務活動によるキャッシュ・フロー

(百万円)



1. 2014年3月期 通期 連結決算概要
2. 2015年3月期 業績の見通し
3. 参考資料
4. 今後の展望

## 2015年3月期 業績の見通し(前年実績比)

『マップルナビ』の軽自動車への採用拡大見込み、国内ガイドの新シリーズ創刊などで売上高は増収転換の見通し。一方、販管費の増加で利益は減益の見通し

(百万円)

	2014年3月期 通期実績	2015年3月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	13,870	14,330	459	3.3%
営業利益 (売上高比、以下同)	659 (4.8%)	130 (0.9%)	△529	△80.3%
経常利益	699 (5.0%)	160 (1.1%)	△539	△77.1%
当期純利益	433 (3.1%)	190 (1.3%)	△243	△56.2%
1株当たり当期純利益(円)	26.07	11.43	△14.64	△56.2%
設備投資額合計	414	980	565	136.6%
有形固定資産	55	80	24	43.9%
無形固定資産	358	900	541	150.9%
償却費合計	1,277	1,260	△17	△1.4%
有形固定資産	211	210	△1	△0.8%
無形固定資産	1,065	1,050	△15	△1.5%
研究開発費	149	150	0	0.3%

# 2015年3月期 分類別売上高の見通し

雑誌・ガイドブックは新刊出版物の投入で増加の見通し

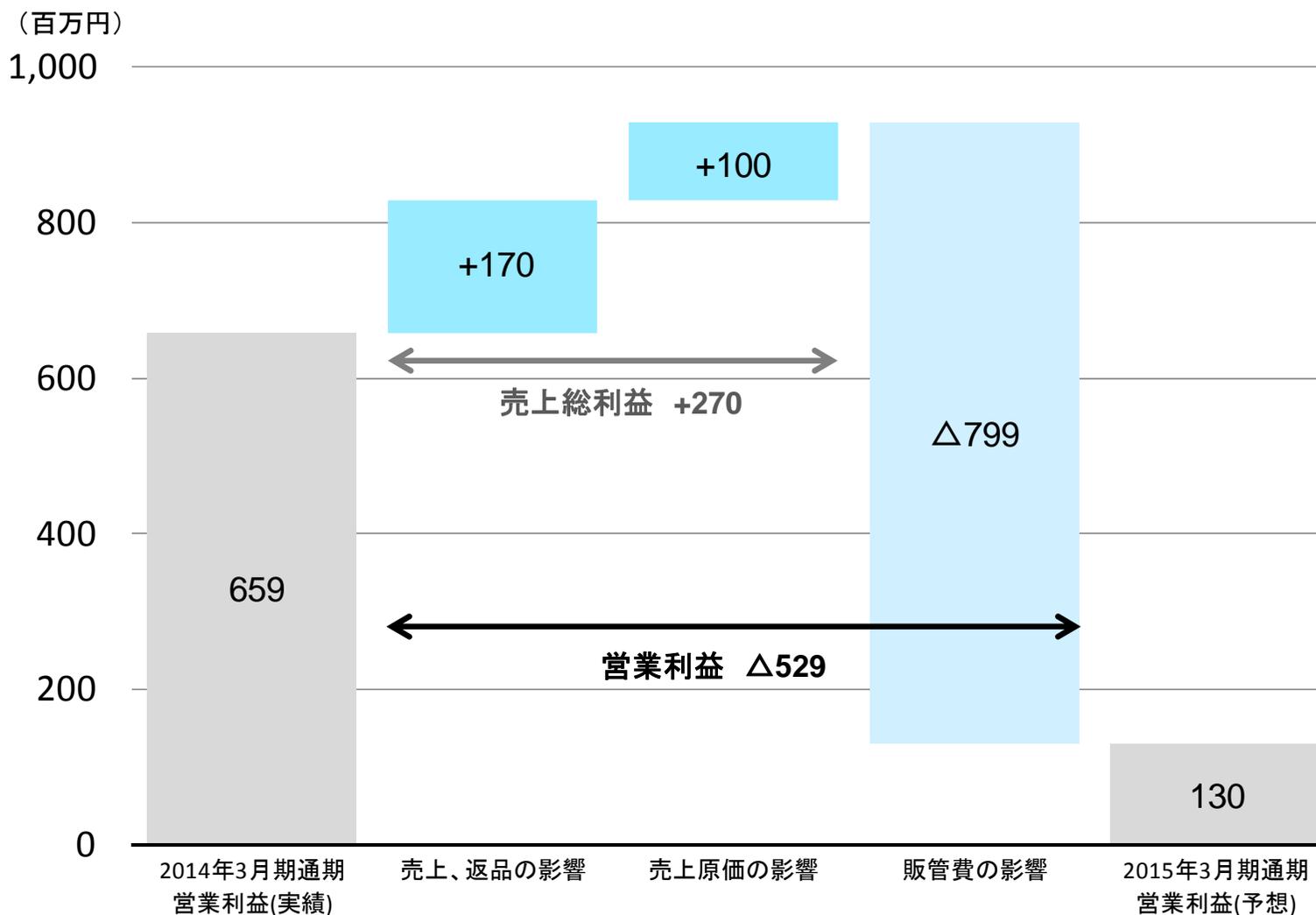
(百万円)

	2014年3月期通期		2015年3月期通期		増減額	増減率
	実績	構成比	予想	構成比		
電子売上	4,924	35.5%	5,100	35.6%	175	3.6%
手数料収入	33	0.3%	60	0.4%	26	76.7%
市販出版物合計	7,363	53.1%	7,530	52.6%	166	2.3%
地図	3,165	22.8%	3,130	21.8%	△35	△1.1%
雑誌	3,045	22.0%	3,180	22.2%	134	4.4%
ガイドブック	1,121	8.1%	1,210	8.5%	88	7.8%
実用書	29	0.2%	10	0.1%	△19	△66.4%
特別注文品	795	5.7%	860	6.0%	64	8.1%
広告収入	753	5.4%	780	5.4%	26	3.6%
合計	13,870	100.0%	14,330	100.0%	459	3.3%

# 2015年3月期 営業利益の増減分析(前年比)

前年同期比  $\Delta 529$ 百万円 出版物新シリーズ創刊に伴う広告宣伝費、販売促進費などの販管費負担が重く、営業利益は減益見通し

■ 増益要因  
■ 減益要因



1. 2014年3月期 通期 連結決算概要
2. 2015年3月期 業績の見通し
3. 参考資料
4. 今後の展望

# 当社概要

## ● 企業理念

旅でもっとつながる世界へ。好奇心でもっと感じる世界へ。

## ● 地図・旅行情報提供企業として多様な商品・サービスを展開

- ・働く女性向けの旅行ガイドブックシリーズ『ことりっぷ』
- ・豊富なラインナップの『まっぷるマガジン海外版』、海外旅行用ガイドブック
- ・創刊50周年を迎えた登山用地図『山と高原地図』、バイクツーリング用道路地図『ツーリングマップル』
- ・読者限定スマートフォンアプリ『マップルリンク』
- ・訪日観光客向けスマートフォンアプリ(英語版、中国語繁体字版)



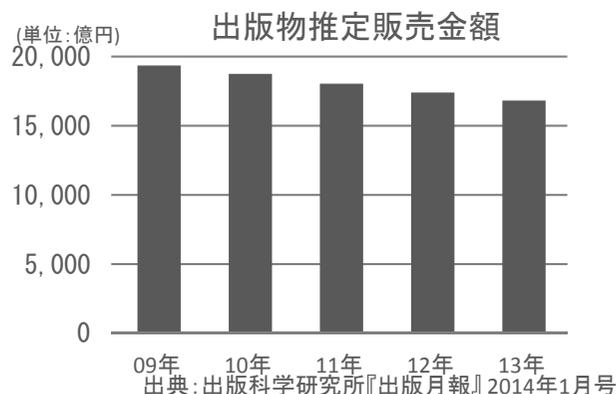
ガイドブック『ことりっぷ』



スマートフォンアプリ『マップルリンク』

## ● 事業環境

・出版物の推定販売金額は9年連続で減少、一方で当社事業の動向に影響する旅行客数は増加



2013年旅行客数

訪日外国人客数		出国日本人数	
2013年	2009年比	2013年	2009年比
1,036万人	+357万人	1,747万人	+202万人

出典: 日本政府観光局(JNTO)

## ● 安定した財務基盤

・自己資本比率85.3% (2014年3月期)

# 当社グループ概要

当社グループは当社、連結子会社3社および持分法非適用関連会社1社の計5社で構成  
(2014年3月31日現在)

当社	社名	株式会社昭文社		
	創業	1960年5月		
	設立	1964年6月		
	社員数	375人		
	上場市場	東京証券取引所 市場第一部		
	本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地		
	事業内容	当社グループは、独自開発による地図データ・ガイドデータを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売や、デジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスの提供等「地図・旅行情報提供事業」を展開しております。		

連結子会社	社名	キャンバスマップル株式会社	株式会社マップル・オン	株式会社昭文社デジタルソリューション
	出資比率	100%	100%	100%
	事業内容	カーナビゲーション用 地図ソフトウェアの 開発・企画制作・販売	モバイル(携帯・スマートフォン)向け アプリケーションソフトの 企画開発・販売及びWeb広告事業	マッピング事業及び システムソリューション事業

# 2014年3月期 グループ主要トピックス

発表日	トピックス	発表日	トピックス
4月23日	【昭文社・IR】 当社連結子会社の株式会社昭文社デジタルソリューションにおける会社分割(吸収分割)に関する吸収分割契約締結	9月24日	【昭文社】 日本のよいものをことりっぷ編集部が目利きでセレクト通販サイト『ことりっぷお取り寄せ』オープン
7月8日	【昭文社】 世界文化遺産に登録された富士山とその周辺を最大限に満喫する楽しみ方をご案内する『まっふるマガジン 富士山』発売	3月12日	【昭文社】 旅行ガイドブックに無料電子版がついてくる3月から『まっふる』国内エリア版に完全対応
8月27日	【昭文社】 ガイドブック『ことりっぷ』のウェブマガジンスタイルのコミュニティサイト オープン	3月19日	【昭文社】【連結子会社 株式会社マップル・オン】 2014年最新版『ツーリングマップル』発売 iPhone用アプリ『ツーリングマップルと使うナビ』も同時リリース
9月4日	【連結子会社 キャンバスマップル株式会社】 iPhone向け本格カーナビゲーションアプリ『マップルナビS』の進化版『マップルナビK』販売開始	3月27日	【昭文社】 業界初、宿泊料金すべて5%現金値引き『マップルリンク』からの宿予約がお得に



『まっふるマガジン 富士山』



『マップルナビK』



2014年版『ツーリングマップル』  
『ツーリングマップルと使うナビ』

1. 2014年3月期 通期 連結決算概要
2. 2015年3月期 業績の見通し
3. 参考資料
4. 今後の展望

# ことりっぷ事業

『ことりっぷ』は働く女性が週末に行く2泊3日の小さな旅を提案する大人気ガイドブックシリーズです。今後は、女子旅を誘客する自治体や鉄道会社・航空会社などとのコラボレーションの展開を強化するとともに、『ことりっぷマガジン』を季節号として年4回発行する予定。女子旅のリーディングブランドとして、さらなるブランド価値拡大に向けて取り組んでまいります。

## 1. 『ことりっぷマガジン』



## 2. 自治体・企業と コラボレーション強化



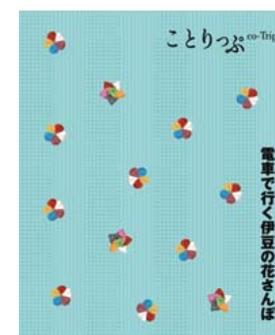
東京急行電鉄様



セイコーウォッチ様(小冊子、コラボレーション時計)



伊豆急行・東京急行電鉄様(出版物、小冊子、電子書籍アプリ)



# マップリンク

読者限定スマートフォンアプリ『マップリンク』が120万ダウンロードを突破。  
無料電子版の提供、宿泊料金5%現金値引きなど、旅行ガイドブック業界初の取り組みです。  
旅先に携行することが前提の旅行ガイドブックでは「本と電子書籍のダブル使い」が使い方としてスタンダードになると見据えて、今後も読者限定のお得な宿予約やクーポン配信など、旅をよりいっそう楽しくする提案を行ってまいります。

## 1. 無料電子版の提供

## 2. 宿泊料金5%現金値引き



**マップリンク** 読者限定!

**業界初!**  
**ALL 5%現金値引き!**  
いつでもお得な宿泊予約 [check >](#)

# インバウンド事業

2020年東京オリンピックが決まり、インバウンド事業への機運がますます高まっている状況を絶好の機会と捉え、様々な当社の強みを生かしたビジネスを展開してまいります。

## 訪日外国人旅客に対する取り組み(B2C)

東南アジアを中心とした訪日外国人の方々に向けた様々な情報サービスの提供を通じ、訪日観光誘客の増大を図り、当社ブランド価値の向上、ファンの創出、メディア価値向上を図ります。

### Facebook



台湾向けFacebookページ  
いいね数：230,000超 ※



タイ向けFacebookページ  
いいね数：130,000超 ※

### スマートフォン向けアプリケーション



・対応言語：中国語(繁体字)

※一部、英語対応

・対応エリア：北海道/東京/大阪/京都/沖縄

**最新ニーズ対応するためリニューアル対応を継続実施**

### 現地翻訳出版



台湾／香港 向け  
「ことりっぷ(小伴旅)」  
「東京案内帖/京都案内帖」

リリース済タイトル数：15  
合計発行部数：約100,000部 ※

### 国内の企業/自治体に対する取り組み(B2B)

当社のB2C事業の強みを生かし、企業／自治体／宿泊施設様等へ外国人誘客ソリューション事業を展開していきます。

企業

自治体/協会等

宿泊施設

※当社のB2Bソリューションの一例

- ・台湾における企業/自治体とのタイアップ本の出版
- ・アプリケーション上への広告コンテンツ掲載など

# 注意事項

本資料に記載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは発表日現在において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、多様な要因によって、これらの業績見通しと大きく異なる結果になりうることをご承知おき願います。

これらの業績見通しに全面的に依拠して、投資判断を行うことは控えられませんようお願いいたします。